

「あたらしい憲法のはなし」 原作／あたらしい憲法のはなし・日本国憲法  
作／柴幸男・「あたらしい憲法のはなし」 出演者

本戯曲は、柴幸男と「あたらしい憲法のはなし」の出演者によって書かれました。

本戯曲は水上舞台を想定して書かれています。

ですが、必ずしも演出を規定するものではありません。

本戯曲の上演料は無料です。

上演を希望される場合は「ままごと」までご連絡ください。

本戯曲の出演者は二十一名です。

出演者が二十一名から増減する場合は、その人数に合わせて、戯曲のエピソードを編集し改訂してください。

本戯曲は基本、ひとりずつ順に話すように書かれています。

同時に話した方が良い箇所、誰かの言葉に被せて話した方が良い箇所など、創作現場で判断してください。

戯曲に書かれていない箇所でも、言葉を発した方が良いと判断される場合は、創作現場でセリフを付け足してもらって構いません。

不必要だと判断される箇所を削除しても構いません。

各セリフの表現や語尾などを変更したい場合は、状況、俳優に合わせて、創作現場の判断で変更してください。

「あたらしい憲法のはなし」

【登場人物】

- A 最初に島を見つけた人 サオリ  
B 二番目に島を見つけた人  
C 三番目に島を見つけた人  
D 貴族  
E 奴隷 ドイ  
F 自由人  
G 夫婦でさまよっている夫  
H 夫婦でさまよっている妻  
I  
J 男子高生、種を持っている  
K 女子高生  
L 老人  
M バイトリーダー、Aの元先輩 ヒョウドウ  
N  
O 島の防衛を訴える人、元警備員  
P ムネノリ  
Q ムネノリのマネージャー  
R 小学生、小学生に見える  
S 小学生、小学生にやや見えぬ  
T 小学生、小学生にまったく見えぬ  
U 妊婦  
V 服を盗まれた人、半裸  
W  
X  
Y  
Z 未来人

## 0 【憲法】

野外。

鬱蒼と茂った木々を背景に、広い池がある。

野球のグラウンドほどの大きさで、人が歩いて渡れるほど浅い池。

その池にはてんでんと、水中ブランコが設置してある。

池の中央に小さな、島、のようなものがある。

それは20人も人が乗れば、いっぱいになってしまつような小さな、島。

この芝居は、水に浸かった世界が舞台となる。

俳優たちは基本、池の中で演じる。

夕暮れの中、芝居が始まる。

人々、池の淵に現れる。みな、シャボン玉を吹いている。

音楽。

M みなさん、あたらしい憲法ができました。

Q ところでみなさんは、憲法というものはどんなものかごぞんじですか。

K じぶんの身にかかわりのないことのようにおもっている人はないでしょうか。

B もしそうならば、それは大きなまちがいです。

以下の憲法の条文は重なりあつて、発話される。

J 第三十条、国民は、納税の義務を負ふ。

L 第六十七条、内閣総理大臣は、国会議員の中から国会の議決で、これを指名する。

C 第十条、日本国民たる要件は、法律でこれを定める。

H 第二十四条、婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

F 第十三条、すべて国民は、個人として尊重される。

Q 第二十一条、集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

P 第二十条、信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。

B 第一条、天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

U 第二十五条、すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

G 第二十七条、すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。

R 第十五条、第三項、公務員の選挙については、成年者による普通選挙を保障する。

V 第三十二条、何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪はれない。

D 第二十九条、財産権は、これを侵してはならない。

K 第十九条、思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

S 第二十六条、すべて国民は、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

O 第九条、日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

M 第十四条、すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

T 第二十六条、第2項、すべて国民は、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。

E 第十八条、何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。

Z 第九十七条、この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。

S 國の仕事は、一日も休むことはできません。

C ン。また、國を治めてゆく仕事のやりかたは、はっきりときめておかなければなりません。

O U この規則はたくさんありますが、そのうちで、いちばん大事な規則が憲法です。

音楽、いつの間にか鳴り止んでいる。  
人々、いなくなる。

1 【冒頭】

傘をさしているA、遠くから池の中を歩いてくる。

A 雨が降りました。長い、長い雨が、何日も、何週間も、何ヶ月も、何年も、降り続き  
ました。なにもかもが水に浸かって、わたしたちは雨の数を数えるのをやめました。そん  
な長い雨が今、止みます。

A、傘を閉じる。

水上にある「なにか」に気がつく。

A、前進し「なにか」に近づく。

A 久しぶりの静けさと、紫色の霧の向こうに、それはありました。

A、「なにか」の上に立つ。

2 【国民】

遠くにいるB、Aに声をかける。

B すいません！

A え、

B もしかして、それって、陸地ですか？

A え、

B 陸地だ！ 陸地だ！ あの、わたしも、そこに上がっていいですか！

A え、あ、はい、どうぞ、

B、やって来て、上がる。

B うわー、陸地だー、すごいー、濡れないー！ やばいなんか涙出てきた、

A あらあら、

B だって、どこもかしこも水浸しだし、冷たいし、寒いし、休む場所ないし、ほんと大変じゃないですか、

A そうですね

B え、これって、無人島？

A さあ、わたしもたまたま見つけただけなんで、

3 【議長】

C、遠くから声をかける。

C すいませーん！

A+B え、

C すいませーん！ そこつてもしかして、島ですか？

B え、あ、はい、

C え、まじですか！ あの！ 僕もそこに上がらせてもらえませんか？

B え、

C あ、だめですか、

一瞬、AとB、迷う。

A どうぞ、

C ありがとうございます！

C、やって来て、上がる。

C あー、つちだ！ つちだ！ あったかい！ やわらかい！ え、ここはおふたりの島  
なんですか？

B (Aを指して) 第一発見者

C え、すごいですね！

A たまたま、見つけただけなんですけど、

C あの、僕も、ここにいさせてもらえないでしょうか、

B え、

C お願いします！

A ええ、

C お願いします！ほんと水の中で寝るとか苦しいし、つらいんです、お願いします！

A ああ、じゃあ、どうぞ、

C ありがとうございます！

B (Aに) あの、ちょっと思ったんですけど、ここ、もうわたしたちの場所ってことに  
しませんか？

A え、

B わたしたちのものってことにしませんか、だって、他の人に盗られたりしたら嫌じゃ  
ないですか、

C 僕たち、三人の場所ってことですか？

B いやいや、あなたは今、来たばかりだから、

C ああ、ですよね、

A いや、でもわたしたちもさっき来たばかりですけど、

「あたらしい憲法のはなし」

- でも、わたしたちのが先だったんだから、  
あの、いいですか、  
なんでしよう、  
じゃあ、国ってことにするのはどうですか、  
国？  
はい、ここを国にして、最初に見つけたあなたが、  
あ、サオリです、  
サオリさんが、総理大臣ってことになれば、他の人に盗られないと思うんですけど、  
おお、  
え、わたしが総理大臣ですか、  
僕はただの国民でいいんで、どうですか、  
よし、じゃあ、今日からここは国ってことで、総理、よろしくお願いします、  
はあ、



#### 4【貴族】

DとE、登場する。

DはEにおんぶされている。

Dは日傘をさして、サングラスをかけている？

E トリ様、トリ様、ご覧ください！ 土地です！ 土地がございます！

C あ、なんか、誰か来ましたよ、

D でかしたぞ、ドイ、下ろしなさい！

E はっ！

D、Eを下ろそうとする。

B え、ちょっと、勝手に上がらないでください、

E はい、なんでしょうか、

C ちょっと、ここはわたしたちの国なんです、

D 国！ なんとという国じゃ、

B え、総理、

A えっと、たまたまの国です、

B なに、その名前、

A いや、だって、たまたま、見つけたから、

D たまたまの国とは愉快、ドイ、言っておやりなさい

E はい、えーと、このお方は、鳥貴族です

B え？

E 鳥貴族は、全国にお屋敷を持つ、由緒正しき貴族です

D いかにも、我こそは鳥貴族、さあ、遠慮はいらぬ、もてなすがよい！

A え、

D さあ、さあ、さあさあさあ！

C いや、もてなさないですよ、

B 屋敷があるならそこに帰ればいいじゃないですか、

E 残念ながらお屋敷のすべては雨に流されてしまったのです

A え、それは、大変ですね

D というわけで、この領地をわらわに明け渡すがよい！

B いやいや、明け渡しませんよ、

D なぜじゃ！ 鳥貴族がどれだけ偉いと心得る

B いや、だって鳥貴族とか知らないし、

C いくら偉くても、明け渡しませんし、

D ぐぬぬ、ドイ！ なんとかせい！

E はあ、

A というか、さっきから、ずっとおんぶされてますけど、大丈夫ですか？

「あたらしい憲法のはなし」

E だいじょうぶです、わたくしは、鳥貴族に仕える奴隷ですので、  
A たち 奴隷！

E あの、なんとか、お助けいただけませんか、

C え、どうします？

B 帰ってもらいましょよ、

A いや、でも、なんか、ずっとおんぶしてるし、かわいそうですし、

C じゃあ、助けるんですか、

A あ、じゃあ、国民になってもらうってのいうのはどうですか、貴族とか関係のないただの平等な国民に、

B まあ、それだったらいいか、

E トリ様、いかがでしたしょう、

D しかたがない……戦争じゃ！

A たち ええ！

E いや、お言葉ですが、トリ様、3対2なんで、負けます、

D ちよいちよいちよい、わらわを数に入れるでない、戦えないよ、わらわ、

E では、3対1で、確実に負けます、

D そうか……、のう、ドイ、

E はい、

D あれほど鳴り響いていたセミの音も、聞こえなくなったな。おごれるセミもひさしからず、ただ夏の夜の夢のごとし。くやしいのう、くやしいのう。

D、Eに降ろしてもらって、上がる。

B え、なに、国民になるってことでもいいんですね、

E はい、トリ様は貴族のご身分をお捨てになられました、

AとBとC はあ、

C じゃあ、あなたも、どうぞ、

E いえ、わたくしは、奴隷ですから、こちらで結構です

C いやいや、

5 【夫婦】

GとH、遠くから声をかける。

G すいませーん、すいませーん、

C あ、はい、

G あの、そこは家ですか？

C 違います、国です、

G 国！ え、じゃあ、国王とかいらっしやるんですか？

A あ、総理大臣です、

G あの、総理さん、わたくしたちは、夫婦なんです、家を流されて、あてもなく放浪している次第です、

A ああ、それは大変ですね、

G つきましては、わたしたちも、そこに泊めてもらえないでしょうか

A どうしましょう、

C また、国民になつてもらえるならいいんじゃないですか、

A そうですね、じゃあ、この国民になつてもらえるなら、

G あの、そこは、どういう国なんでしょうか、

A たまたまの国です、

GとH たまたまの国？

A あ、平和な国です、

H (Gに) あなた、

G じゃあ、国民になりますんで、よろしくお願いします、

A じゃあ、どうぞ

GとH、やって来て、あがる。

G ああ、やっぱり久しぶりの地面はいいなあ、

H あなた、

G あの、あちらの方はどうして、水の中にいるんですか、

E わたしは奴隷ですので、

GとH 奴隷！

G え、ここは、そういう国なんですか？

C 違います、違います！ あの、この人(D)の奴隷らしいんですけど、僕らもそれはどうかかって言ってたんです、

B あげてあげようって言ってたんです、

C 奴隷もやめさせていいんじゃないですか、

A そうですね、

D お待ちなさい！

他 え？

「あたらしい憲法のはなし」

- D ドイはわが一族の所有物。財産ぞ。この国は国民の財産を没収するのか！
- C そう言われるとあれですけど、え、総理どう思いますか、
- A わたしですか？
- C だって総理ですから、
- A でも、わたしひとりの判断で決めていいのかどうか、
- C いいんじゃないですか、
- D なんじゃ！ じゃあ、おぬしは総理が死ねと言ったら死ぬのか！
- C いやいや、
- B 子供じゃないんだから、じゃ、総理、言ってやって、
- A じゃあ、たまたまの国では、
- GとH たまたまの国？
- A 奴隷は禁止ということぞ、
- DとE以外 (拍手)
- D 横暴じゃ！ 独裁者！
- B あなたに言われたくないですよ、
- A じゃあ、まあ、とりあえず、寒いですし、あがってください
- E いいんですか、
- A どうぞ、
- E すいません、では、失礼します、

## 6 【自由】

G あの、なんか、さっきから、あの人、こっち見てるんですけど、

F、いつの間にか、人々を遠くから眺めている。

C あ、ほんとだ、めっちゃ見てますよ

あなた、

D ドイ！ 声をかけてみよ！

E はっ！ (Fに) すいませーん、なにか、ごようでしょうかー、

F べつにー

E べつにー、だそうです

B 聞こえてたけど、

C じゃあ、なんで、見てるんですか、あの人、

B 入れてくれて言うんじゃないですか？ どうします？

A いや、どうしましょう

F そこはなんですかー？ シェアハウスですかー？

E 違いますー、国ですー

F 国？ そんな小さい島で国？ ウケますねー

C なんか、笑われてますよ

G ちよっとイラッとしますね

F なんていう国ですかー？

E たまたまの国ですー

F たまたま(笑う)

B ちよっとなに、あの人、

E あの、こちらに来たいんですかー？

F どうせ国民になれとか言うんでしょー

E はいー

F むりむりー、たまたまの国とか、むりむりー、はははー、

C 腹立つなあ、

B じゃあ、どっか行ってくださいー

F え、なんで、ここにいるのは自由でしょー、わたしには自由にする権利がありますよ

B なに、なんなの、あいつ、

F ずっとあそこにいるつもりですかね、

あなた、

E あ！

F、どこかに行ってしまう。

E どっか行っちゃいました、

「あたらしい憲法のはなし」

**A B G C**  
勝手だなあ  
あの人、また来るんじゃないですか、  
ちよつと、総理、なんとかしてくださいよ  
そう言われても、

8 【学生】

制服を来たJとK、歩いている。

J すいませーん、

他 わ、

C え、学生？

J あの、ちょっといいですか、

J 早くしろよ、さみーんだよ、

J あ、はい、(Aたちに) あの、そこは、テラスハウスですか？

C 違います、

K そんなわけねーだろ、適当なこと言ってんじゃないよ、

C 国です、

J え、国なんですか！

C たまたまの国です、

J たまたまの国？

K ほら！ 早くしろよ、

J あの、僕たちはですね、見ての通り、何の変哲もない高校生なんですが、学校ごと流されてしまって困っています、もしよかったら助けて下さい、お願いします！

C 総理、どうします、

J (総理?)

A まあ、いいんじゃないですか、

B いや、でも、どんどん狭くなってますよ、

D そうじゃ、これ以上、せまくなるのは嫌じゃ、

G いやいや、でも、まだ子どもじゃないですか、

J はい、僕たち子供なんですから、

K 子供じゃねーし！

B そうだよ、高校生はもう大人でしょう、

J + K 以外 がやがや

J あ！ じゃあ！ あの！ 僕、種を持ってるんでそれをみなさんにプレゼントします、それでどうですか、

A 種？

J はい、僕、園芸部だったので、

他 おお！

K お前、そんなのあるんだったら、早く言えよ！

J ごめんなさい、

B え、種ってなんの種？

J ひまわりの種です！

B やっぱ、追い返ししょう

J でもでも、ひまわりの種も食べようと思えば食べられますよ、

「あたらしい憲法のはなし」

E ごちそうですネー、  
B ハムスターかよ、  
J いや、しかも土があるので、植えたらもっと増やせて、種を沢山、食べられると思うんですけど、  
B 結局、種かよ！  
C まあ、でも、くれるんだっいたらいいんじゃないですか、もらいましょうよ、  
A じゃあ、二人にも、国民になってもらうってことで、  
J よろしく願います！

JとK、上がる。

B つきあってんの？  
K んなわけねーだろ、いじめてんだよ、  
J どこに植えましょうか、  
A じゃあ、真ん中らへんに植えましょうか、きれいですし  
J じゃあ、みなさん、ここに植えるんで、あの、踏んだり、しないでくださいね  
C でも、だいぶ狭くなりましたね、  
A そうですね、



9 【老人】

L、やってくる。杖をついている。

L すいません、すいません、

A え、

L すいません、どこかこちらへんに老人が休めるような場所はないですか、

A え、

L そこはなんですか、バス停ですか

A ちがいます、国です

L 国？

A あの、おばあさん、こちら、上がりますか、

B いやいや、もうだめですよ、寝られないでしょう、

D そうだ、あんな年寄りを国民にして何になる、何の役にも立たないぞ

K お前もババアじゃねーかよ

D おい、

J あ、じゃあ、僕たちは、種をプレゼントしたじゃないですか、だから、なんかおばあ

さんからも、もらったらいんじゃないですか

K はあ？ 年寄りにはタダで助けるもんだろ！

C いや、でも、税金ってことですよね

G たしかに、どこの国にも税金はありますよね、

他 ああ、

C あの、おばあさん、なんか、役に立つものとか持っていますか？

L ああ、ありますよ、

L なんですか、

C はい、福耳、

C 総理、どうしましょう、

A まあ、いいんじゃないですか、

他 ええ！

A おばあちゃん、この国民になってももらえるなら、どうぞ休んでってください

L ああ、はいはい、はあ、極楽極楽、

L、機敏にやって来て、上がる。L、横になり、眠る。全員、どよめく。

A あ、おばあちゃん、ちょっと、

J ひまわりの種が下敷きに、

B どーすんの、すごい場所とれらちゃったけど、

他 総理（大臣）

A すいません、おばあちゃんこだったもので、つい

他 おばあちゃんこて……、

「あたらしい憲法のはなし」

M、やってくる。

M すいません！そこは何ですか、休憩室ですか、

いいえ、国です、

A たまたまの国です、

A あれ、……サオリ？

A あれ、先輩？

M サオリ！

A 先輩！

M、やって来て、その勢いのまま、あがる。

他 ああ！

M ひさしぶりー！元氣ー？

A はい！

C なになに、総理、だれなんですか、

A バイトの先輩です、

他 バイトの先輩？

A わたしが昔、バイトしていたお弁当屋さんの先輩です、すごい、敏腕、バイトリダー

M | はい、バイトリダーです

M へえ……、

他 なに、ここ？サオリ、なにやってるの？

M あ、いや、ここは国で、一応、わたし、総理大臣やってるんですけど、

M え、総理大臣！サオリ、総理大臣やってんの！すごい、バイトから総理って、

大出世じゃん！

A たまたまですけど、

M ねえ、あたし、水の中、歩いててすごい疲れてるんだ、ここで休んでもいい？

A あ、じゃあ、どうぞ

A いやいやいや、

他 え？

A え、ちょっと総理いいんですか、

C いや、でも先輩なんで、

B えー、なにそれ、

C あ、ここにあがる人は、国民になってもらう決まりなんですけど、いいですか

C え、それってサオリの部下になれてること？

M いや、部下じゃなくて国民です、

C でも国民って、総理の部下ってことですよ、

C M B D M C 他 M 他 M C  
いや、違うと思いますけど、  
あ、じゃあ、あたしが総理やりましょうか、  
え、  
この国まわしますよ、あたし、シフトも組めるし、  
いやいやいや、  
総理はもう決まってるんで、それは、ちょっと、  
え、なんでサオリは総理やれて、わたしは総理やっちゃいけないんですか、  
そうだ、わらわも総理やりたいぞ！  
いやいや、  
みんな、平等にしましょうよ、  
いやいや

O、遠くから、勢いよくやってくる。

O あぶない！ あぶない、あぶない！ あぶない！

O、水の中のなにかをつかむ。

他 きゃー

O みなさん、あぶないところでしたね、見てください！

O、水の中のなにかを掲げる。細長いなにか。

O 水蛇です！

他 きゃー

O (水蛇を食べて捨てる)

他 きゃー

O ここはなんですか、ユートピアですか

C ……国です、

O 国、なるほど、自治をされているわけですね、素晴らしい

他 ありがとうございます、

O この国の代表者は誰ですか、

A あ、わたしが総理です、

O 総理、この国の防衛政策はどうされていますか

A え、無防備です、

O 無防備？ それはよくない！ この世界には危険が溢れてるんです、

A はい、

O 水蛇だったからよかったものの、もし誰かが攻めてきたらどうするんです、

他 え……、

O もしよろしければ、わたしがお守りしましょうか、

A え、

O わたしはかつて、某警備会社に務めていました、

他 アルソック？ セコム？

O わたしが、この国の、防衛大臣になりましょう、

他 おおー(拍手?)

A お願いします、

O、上がる。

「あたらしい憲法のはなし」

O では失礼、(寝ているLを見て) このご老人はお亡くなりになったんですか、

12【子供】

S、泣きながらやってくる。

S えーん、えーん、

C 子供だ、

A どうしたの？

S そこはなんですか、保健室ですか？

C 国だよ、

S あの、ぼく、見てのとおり、小学生なんですけど、学校も、家族も流されてしまっ  
て、助けてもらえないでしょうか、

他 助けよう、かわいそう（など）

A どうぞ、あがっておいで、

S ありがとうございます、

S、あがる。

S すいません、実は、友達もいるんですけど一緒にいいですか

A いいですよ、

他 いいよ、いいよ、

S ありがとうございます！（遠く）おーい、いいって！

RとT、走って、やってくる。

R・T わーい、

全員 いやいやいや、

RとT、勢い良く、あがる。

C え、友達、

S+R+T ともだち、ともだち、

全員 ええ、

B 防衛大臣、防衛大臣、

O 君たち、いくつなんだい？ 君は、

S 12です

全員 うん

O じゃあ、君は、

R 12です

全員 うん？

O じゃあ、君は、

「あたらしい憲法のはなし」

T 11です、  
全員 そんなわけねーだろ、そんな子供がいるか（などなど）  
T （静かに泣く）  
J 泣いちゃいました、  
他 あわわ、  
S なるくんは、特別に発育がいいんです、気にしてるんです、いじめないでください  
全員 いじめてない、いじめてない、ごめんねー（などなど）  
A だいじょうぶ、じゃあ、わかった、3人ともここにいていいから、  
S+R+T ありがとうございます！  
C さらにせまくなってきましたね、  
他 せまい、せまい（など）

T、手をあげる。

G さっきの子、手をあげてますよ  
T あの、算数のプリントやりたいんですけど、いいですか、  
他 え、  
M いいよいいよ、こんな状況で勉強しなくて、  
B そうだよ、場所がないじゃん、  
他 まあ、そうだよね、  
K ちよつと待てよ！ ガキはみんな教育を受ける権利があるんだから、やらせてやれよ  
他 ええ、  
G まあ、わたしたちにも教育をうけさせる義務がありますからね、  
他 ああ、じゃあ、しょうがないか（など）  
S+R+T ありがとうございます！ やるやる、すいません、すいません、  
S+R+T、たくさん場所を取って、算数のプリントをはじめ。  
以降、15【宗教】まで算数のプリントをやり続ける。

他 せまい、せまい、

V、ごぶえながらやってくる。半裸。

V すいません、

他 わ！

V そこは何ですか、避難所ですか、

C ちがいます、国です、

V 国？ 国ですか、あの、さむいですが、

他 そりゃそうだと、裸だからね（など）

V 助けてください、

O どうして裸なんですか、

V 服を干してたら、なくなってる、たぶん、だれかに盗まれました、助けてください

他 かわいそう、

A 助けましょうか、

B いやいや、もう場所がないよ

他 がやがや

V あ！

他 え、

V おれの！ おれのふく！

他 え、

V ふくどろぼうー！

他 え、え、

V おれのふく、かえして、かえしてよ、

V、Gにつめよる。

G え！

V ふくかえして、かえしてよ！（Gをつかむ）

他 防衛大臣、防衛大臣、

O、Vに水をかける。V、逃げる。

V さむい、さむい、

C ちよっと待って下さい、（Vに）どういふことですか、

V その人が、僕の服とったんです、

他 え！

G とってません、とってません！ これは妻からのプレゼントですよ、

他 え……、

V いや、本当に、それは僕の服です、

「あたらしい憲法のはなし」

- G 本当に、妻からもらったんですよ、  
H ごめんなさいっ！  
H ?  
H ごめんなさいっ！（泣き崩れる）  
H え？  
O ……奥さん、とったんですか？  
H とりましたー！（泣く）  
H ええ！  
G お前、どうして、  
H あなたが、あなたが、すごく寒そうだったからあ！  
G お前、  
H （号泣）  
A そんなに泣かないください、  
H まあ、しょうがない、よね、しょうがないしょうがない（など）  
V いやいやいや、しょうがないですよ、泥棒ですよ、泥棒、なんか、罰を与えてください、  
H ええ、罰って？  
G あ、じゃあ、これをお返しします、  
V いいですよ、あなたがずっと着てたシャツ、もう着たくないですよ、裁判、裁判してください、  
H 裁判？  
C ええ、どうします、総理、  
A あの、もうやらないですよね、  
H ……はい、  
A じゃあ、まあ、反省してるみたいですし、もうやらないって約束してくれたんで、無罪ということで許してあげてください、  
H （拍手）  
V えええ、おかしい！ おかしい！ ちゃんと罰を与えください、  
H 防衛！ 防衛！  
O 水をかけますよ、  
V う、……じゃあ、せめて助けてください、  
C 総理、  
A もちろん、どうぞ、  
C V、あがる。GとHの横。  
C 近いな、



U、遠くから声をかける。Uのお腹は大きい。

U すいません、そこは、島ですか、わたしもそちらにあがりたんですけど、  
 他 え、お腹が、大きい……  
 U あ、はい、妊娠しています、  
 C 何ヶ月ですか、  
 U 8ヶ月くらいです  
 他 それは、おめでとうございます（拍手）  
 U ありがとうございます、  
 B 旦那さんは？  
 M もしかして、流されたんですか？  
 U あ、いえ、あたし、子供が欲しかっただけなんで、シングルマザーです  
 他 へー、  
 A あの、あがっていいですか、  
 U どうぞ、

U、近づいて、あがる。

「あたらしい憲法のはなし」

他 気をつけて、気をつけて（など）  
 U あの、ここはなんですか、  
 C 国です  
 A 国、  
 A たまたまの国です、  
 C 総理大臣です、  
 U へー、すごいですね、女性の総理大臣なんですネ、  
 A はい、  
 U 選挙で決まったんですか、  
 他 ……  
 C いや、一番最初にここを見つけたんで、  
 B 第一発見者なんです  
 他 **知らなかった** へえ、すごいですね、  
 J だから、総理大臣なんですネ、  
 A たまたまなんで、  
 M え、ちょっと待ってください、一番最初に見つけたから総理大臣なんですか？  
 C そうですよ  
 M でも、それってなんか変じゃないですか？  
 B なにが、ですか？  
 M え、見つけた順番なんですか？

**C 他 K**  
まあ、たしかに普通、総理大臣って選挙で決めるよな、  
たしかに……  
いや、でも、3人しかいなかったから、

Q、やってくる。P、遠くにいる。

Q あのー、すいません、

他 え、

Q 失礼します、そこはなんですか、

C 国です、

Q ああ、国、すいません、助けてもらえないですか、ふたりなんですけど、

他 ふたりかあ、いや、せまいし、場所がない(などなど)

S あ！

他 え、

S ムネノリだ！

S、遠くにいるPを言っている。全員、Pに気がつく。

他 キャー！ ムネノリだ！ ムネノリだ！(などなど、熱狂)

P ……(軽く手を上げる)

他 キャー！

Q (落ち着くのを待って) はい、みなさん、いつも応援ありがとうございます、ムネノリでございます

他 きゃー

Q わたしはムネノリのマネージャーです、

他 へー

Q 事務所がちょっと流されてしまいました、

他 総理、助けましょう、

A どうぞどうぞ、上がってください、

QとP、近づいてあがる。QはPを守る。

他 握手してください！ 握手！(などなど)

Q ストップ、ストップ、あのオフなんです、これくらいで、

他 オフか……

Q すいません、恐縮ですが、ムネノリの個室をご用意してもらえないですかね、

他 個室、

C 総理、どうします、

A ああ、でも、ムネノリさんですもんね、

他 うんうん、

A 個室、ご用意します、

QとP、以外は移動して、なんとか個室をつくる。

A ご注意できました、  
Q こちら( L )は？

L、ずっと同じ姿勢で微動だにせず寝ていた。  
Lが寝ている場所は個室のど真ん中にあたる。

A あ、おばあちゃん、おやすみになってて、  
Q おばあさん、ちょっとこちらいいですか、  
L (起きて) んん、あ！ ムネノリだ！ (飛び起きて、抱きつく)  
他 ぎゃー！ ずるい！ (など)

QとAらによって、Lはがされて、Pと距離を置かれる。

他 ムネノリさん、だいじょうぶ  
P (軽く手をあげる)  
他 キャー

M ねえ、みなさん、ムネノリさんに総理をやってもらうのはどうでしょう  
 他 いいねえ

M ムネノリさんに、この国の総理大臣になってもらいましょう、

他 おおー（拍手）

AとBとC いやいやいや

C ちょっと待ってください、それは違うんじゃないですか  
 M なにが？

B そうですよ、ムネノリさんだから総理っていうのはおかしいですよ

S どうしてですか、

C だって総理はもう決まってるんですから、

V どうして決まってるんですか、

C いや、だって、最初に見つけたから、

K だから、最初見つけたから総理っていうのもおかしいんじゃないか、

他 そうだ、そうだ、

C 待って、待って、じゃ、じゃあ、選挙やりませんか、

他 選挙、

C だから、ムネノリさんか、現総理か、どっちが総理大臣にふさわしいかを決める、選挙をしましょうよ、

他 ああ、

C いや、だって総理大臣とかって、ちゃんと、選挙で決めた方がいいですよね、

他 ああ、

M ムネノリさん、どうですか？

Q スケジュールは一応、空いてますけど、どうする？

P （考えて、手を軽く上げる）

他 きゃー！

Q ムネノリは来たオファー断ったことないんで、

他 おおー

M じゃあ、どうします？

J 防衛大臣にしきってもらうのはどうですか、

O え、わたし、

他 防衛大臣、しきって、

**Oが真ん中へ。後ろに、AとP、並ぶ。**

O これから、たまたまの国、初の、選挙を行いたいと思います！

他 （拍手）

E あの、それは、元奴隷のわたしでも参加できるものでしょうか、  
 知らない人 え、奴隷？

「あたらしい憲法のはなし」

O どうなんでしょう、  
U あたしですか？  
O いや、詳しくそうだから、  
U いいんじゃないですか、  
E ありがとうございます、  
他 おお  
H あの、犯罪者のわたしは、  
知らない人 え、犯罪者？  
他 それはどうなんだろう、  
V なしですよ、なし！  
H (泣く)  
他 あらあら、  
O 静かに！ 聞いてみましょう、  
U どんな罪を犯したのか知らないですけど、犯罪者も選挙権は没収されないと思います  
V えー！  
H あなた！  
L 老人のわたしも参加してええんか？  
B だいじょうぶ、だいじょうぶ、  
S たち じゃあ、僕たちも投票していいんですか、  
他 あ、  
U 子どもは、できないかなあ、  
S たち え、  
B 子供は普通、投票できないですよね、  
K そうだよ、お前らは参加できねーよ、  
J 大きくなれよ、  
M いや、あんたたちも参加できないよ  
J と K ええ！  
K なんてだよ！  
M だってまだ子供じゃん、  
J でもでも、税金、払いましたけど、  
M 税金は関係ないよ、未成年はみんなだめ、  
K なんだよ、大人はいつだってそうだよ！  
R あの、  
他 え、  
R わたし、実は、子供じゃないんで、投票してもいいですか、  
他 え！ まじで！  
R まじです  
O え、本当はいくつなんですか、  
R 21です、  
他 え、

「あたらしい憲法のはなし」

K ババアじゃねーか、  
C なんて、子供のふりしてたんですか、  
R 子供だと色々、優遇されるから  
他 ざわざわ

R でも本当は大人なんで、投票していいですよね  
ど、どうぞ、

S だ、だまされたー！

O ……他にも年齢を偽っている人がいたら白状するなら今のうちですよ、

T えーん

他 泣かした！

O ごめん、ごめん、

D お待ちなさい、わたくしは元鳥貴族ですが、何票いただけるのかしら、  
知らない人 え、鳥貴族？

U いや、元鳥貴族とか、関係なく、みんなひとり、一票です、

他 ああ、

O では最後に、候補者に一言ずつ、ではまず、現総理から、

A え！ ……みんな仲良く、平和な国を目指します、

他 (拍手)

O では、ムネノリ候補、

O (サングラスを取る)

他 きゃー、

O さあ、選挙をはじめましょう！

他 おー、

問。

他 ……え？

U いやいや、だから、どうやって、やるんですか、

U 普通は紙に書いて投票しますよね、

G でも、紙とがあります、

他 ないない、

B あ、子どもたちの算数のプリントがあるよ！

S とT え、

M きみたち、ちょっと、算数のプリントやぶらせてもらっていい？

S とT いやいやいや、ダメですよ！ ダメダメ！

B なんだよ、協力しろよ

S だって、投票させてもらえないし、

T 算数のプリントをやぶかないでください、

U じゃあ、手を挙げるのはどうですか、

他 ああ、

「あたらしい憲法のはなし」

G いや、でも、  
O なんですか、

G でも、手をあげたら、誰が誰に投票したか、バレますよね

G それか、どうかしたんですか、

G いや、気まずくないですか、

U 確かに、普通は誰が誰に投票したかわからないようになってますね

G あ、さっきの彼がまた手をあげますよ、

O どうしたんだい、

T 僕たちが数えましょうか、

T 他 え、

T 子どもは投票できないから、

T 他 ああ、

K そうだな、それしかねーよ、みんな目を閉じて手を上げる、こちらが数えるよ、

M でも、インチキしない？

K 子供を信じるよ

J 4人もいますし、ウソつけないと思います、

O じゃあ、数えてもらいましょうか、

O 他 ーい、

S では、みなさん、目をつぶってください、

大人たち、目をつぶる。

S ムネノリさんがいいと思う人、手をあげてください。

D、L、M、O、Q、R、V。

S 手を下ろしてください、はい、では、現総理がいいと思う人、手をあげてください

B、C、E、G、H、U。

S 手を下ろしてください、では、目を開けてください、7対6で、ムネノリさんが総理大臣に決まりました、

サオリに投票した人 えええー！

ムネノリに投票した人 やったー！

C ちょっと待ってください、7対6？ 7対6ですか？

S そうです、

C 7対6ですか？ たった一票じゃないですか、

S 一票だけど、ムネノリさんが多いから総理大臣です

C でも、一票ですよ、

M それが選挙でしょう、一票でも多かったら勝ちですよ、



「あたらしい憲法のはなし」

C いや、おかしいですよ  
M どこが、おかしくないですよ、  
C でも、反対意見の人が半分もいるんですよ  
M 半分じゃないでしょ、  
C でも、一票だけですよ、多いの、  
M じゃあ、もう、分けませんか、  
他 え、分ける？  
M だから、だいたい半分くらいで意見が分かれてるんですから、まあ半分じゃないですけど、  
他 ああ、……え、どうする？  
O わかりました、ムネノリ総理がそれでいいなら、  
P ……（考えて、大きく丸をつくる）  
他 きゃー！ やさしー！  
C じゃあ、今から、こっちが、たまたまの国で、  
M じゃあ、こっちはムネノリさんの国で、  
V じゃあ、僕、あっち（ムネノリの国）行きます、  
C え、  
V だって、ちゃんと裁判してくれなかったから  
他 ああ、  
E わたし、そっち（たまたまの国）行きます、  
D 裏切りもの  
他 ああ、  
C 君たちはいいの？  
SとT ぼくたちムネノリさんの国がいいです！  
B こどもが！  
O じゃあ、わたしも、こっちへ（ムネノリの国）、  
C え、防衛大臣もそっちなんですか、  
O 防衛の観点から見て、トップは男性の方が安心でしょう、  
U ああ、あたし、そっち行きます、  
O ご夫婦は、そちら（たまたまの国）ですか、  
G どうする？  
H あたしがこっち（たまたまの国）がいいです、無罪にしてもらったんで  
V ひどい理由だ、  
J じゃあ、ひまわりがあるんで、僕たちは、こっち（ムネノリの国）で、…（動かない  
K Kを見て）え！  
K あたしは、ここ（たまたまの国）に残るぜ、  
J ええ！ どうして、  
K いや、なんとなく、  
J じゃあ、僕も、  
K ばかやろう！ 自分で決めたんたら、変えてんじゃねーよ、

**J** はい……、  
**B** つきあってんの？  
**K** つきあってねーよ、  
**O** じゃあ、これで決定ですね？ みなさん、いいですか？  
**M** じゃあ、うちの国（ムネノリの国）の方が人口多いんで、ここが国境ね、  
**C** え、

**M**、かなり半分より広めに国境を定める。  
**全員**、もめる。

F、再び、遠くにいる。

S あ、なんか、変な人が見てる！

他 え、さっきのやつ、

G またすごい見えますよ

他 また？

C 前にも一回、来たんですよ

B 防衛大臣、ちょっと見てきて

他 はい、

O ちょっと待ってください、

他 え？

M うちの国の防衛大臣ですよ、

O は、そうか

V そうですよ、勝手に使わないでください、

M 防衛大臣、ちょっと見てきてください

O はい、

O、移動して。

O あなたはだれですかー、

F だれでもいいでしょー、

O なぬ

F あなたこそ、だれですかー

O わたしは、この国の防衛大臣だー

F 防衛大臣、ハハハ

O なにがおかしい、

M そうですよ、失礼ですよ、この国の総理大臣はねムネノリさんなんですよ、

F え、誰ですか

O ムネノリさんだ、MUNENORI、ムネノリさんだ、知らないのか、

F え、知らないよ、そんなの、

M ちょっと知らないってなによ！

他 失礼だ！

F、ブランコに乗るなど、適当に過ごし始める。

O こら、勝手に、遊ぶな

C F O などで、自由でしょ、人間は生まれながら誰でも自由になる権利があるんですよ  
さっきも、こんな感じだったんですよ、ちょっと追っ払ってください

わかりました  
ちよつと待って下さい、  
え、  
だから、うちの国の防衛大臣を使わないでください  
ケチ、  
防衛大臣、追い払ってください  
おんなじこと頼むんじゃないか、  
え、国、ふたつになつたんですか、  
そうですよ、こっちはムネノリさんの国です  
こっちはたまたまの国です  
ちっちゃい島に、国2つ、  
……  
ちっちゃい島に、国2つ、  
なんなんだ、なんで二回言うんだ、  
戦争してるんですか、  
してないですよ、  
してないしてない  
ちよつと待ってない  
さつき、向こうで、戦争してる国がありましたよ  
え、なにそれ……、  
ここも、そうなるんじゃないですか、  
ならないし、  
ねえ、あたしたちは、仲良くやってるよね、  
そうです、ここはどっちも平和な国なんです、  
えー、本当に？ 仲悪そうですよ、  
ちよつともうなんなのあいつ！  
防衛大臣、  
ちよつとこれ以上、不穏なことを言うと、水をかけますよ！  
はいはい、帰ります、帰りますよ、  
本当にかけますよ！  
ひえー、はいはい、

F、いなくなる。

## 「あたらしい憲法のはなし」

- O あぶないやつだった、みなさん、国の安全は守られましたよ、  
ムネノリの国の人 おおー（拍手）
- M いやいや、なに一緒に拍手してるんですか、  
他 え、
- V うちの防衛大臣ですから、  
C わかりましたよ、
- M あ、ちょっとうちの国に入らないでください、  
A え、
- C いや、入ってないですよ、
- M あ、ねえ、わたしたちの、国歌つくりませんか、国歌、  
C 無視ですか、
- ムネノリの国の人 いいですねえ、ムーネノリ、ムーネノリ！  
たまたまの国の人 うるさい……
- C すいません、  
ムネノリの国の人 え？
- C あの、静かにしてもらえませんか、  
M はい、ごめんなさい、  
ムネノリの国の人 すいません、  
M しずかにね、……ムーネノリ、ムーネノリ、ムーネノリ！  
たまたまの国の人 ちょっと、ちょっと、  
ムネノリの国の人 なに？
- C 静かにしてください、  
M え、今、また、うちの国にはいりました？  
C 入ってないですよ、  
V 入りました、入りました、  
ムネノリの国の人 入った、入った、  
M 防衛大臣、  
O 入ったんですか、不法入国ですよ、  
C 入ってないですよ、  
B だって国境、見えないんだからしょうがないじゃないですか、  
V ここですよ、ここ、  
K どこだよ、  
V ここここ、
- C 大体、最初にここを見つけたのは、うちの国なんですからね、  
B 国の歴史もうちの方が古いんですよ、  
M だから、その話は選挙で終わったじゃないですか、  
A ちょっとやめませんか、  
M なにがですか、

「あたらしい憲法のはなし」

- A その、言い争いみたいなの、
- C 争ってない、争ってないですよ、ねえ
- M そうそう、こっちは平和にやっついていこうと思ってるんですから、ねえ、
- ムネノリの国の人 そうだ
- C いや、こっちのほうが平和ですよ、
- たまたまの国の人 そうだ、
- M もし、万が一、万が一、戦争になっても、うちの方が人数多いですからね、
- ムネノリの国の人 そうだ、そうだ、
- B え、なんですか、それ、脅しですか、
- ムネノリの国の人 ちがうちがう、
- M いや、違いますよ、だから、攻めてこないでくださいねって言ってるんです
- C 攻めないですよ、
- B それはこっちのセリフです、
- C 人数が多いからって攻めてこないでくださいね、
- S 攻めませんよ、
- R さっきから因縁ふっかけてきてるのは、そっちじゃないですか、
- ムネノリの国の人 そうだそうだ、
- C ふっかけてないですよ
- たまたまの国の人 ふっかけてない、
- M 大体、最初に見つけたから独り占めしようっていう考えがせこいですよね、
- A いやいや、独り占めしようなんて思ってるじゃないですよ、
- M だって、総理大臣になってたじゃないですか、
- G 総理は色々、がんばってくれてましたよ、
- V どこですか、裁判してくれませんでしたよ
- D わたくしは財産を没収されましたのよ！
- C いやいや、それは、事情があるんですよ、
- ムネノリの国の人 事情ってなんだ
- C 聞いてください、聞いてください！
- M 防衛大臣、ちょっと守って、こわい、
- O はい、
- C いやいや、怖いってなんですか、
- M だって、なんか声おおきいし、
- C いやいや、なんにもしらないですよ、
- O 止まってください、
- C なんて、ですか、
- O それ以上、こっちに來たら、攻撃とみなしますよ、
- C いや、おかしいですよ！
- O (構えて) 止まりなさい、
- C いやいや、普通に喋ってるだけじゃないですか！

O、Cに水をかける。

他 ……あ、

気まずい間。

C ……なんですか、今の、  
防衛です

C いや、攻撃ですよね、

O 今のは防衛です

C 水かけたじゃないですか、攻撃ですよ、

O 防衛です、あなたがそれ以上、こっちに来るからです

C 行ってないですよ、

O それはわたしが防衛したからです、しなかつたら来ていた

C いや、動かなかったじゃないですか

O こっちには、子どももいるんですよ

H いやいや、こっちには妊婦さんもいるんですよ

J ちよつと、ひまわりが、あぶないです

M ひまわりなんかどうでもいいでしょ！

B、Oに水をかける。

他 あ、

O ……なにをするんですか、

B そっちが先に水をかけたからです、これでおあいこです、  
攻撃をされた以上、防衛せざるを（得ませんね）

M、Bに水をかける。

他 あ、

たまたまの国の人々、水をかけかえす。

ムネノリの国の人々、水をかけかえす。

そうして、お互いの国の人々は水を掛け合う。

やがて、人々は島から落ちて、水を掛け合う。

劇中歌「あたらしい約束」流れる。

「あたらしい約束」

むすんだ小指 ほどけて別れた  
誓いの言葉 忘れたふりした  
約束はやぶられた 約束は守られない

ちいさな秘密 かくして育てた  
誓いの指輪 どこかに失くした  
約束はやぶられた 約束は守られない

でも ぼくたちはやめられない  
人を信じずにはいられない  
でも ぼくたちはやめられない  
君を信じずにはいられない

あたらしいはなしをしよう  
あたらしい約束をしよう  
紙に書いてとっておこう  
いつかやぶられる その日まで

曲の中で、人々、無我夢中で水を掛け合う。



19 【戦後】

曲が鳴り止み、疲れた人々は呆然としている。

全員 はあはあ……

F、やってくる。

F あれ、あれ、どうしてみなさん、水浸しなんですか

人々、疲れ果てて、答えない。

F あ、やっぱり戦争しちゃいました？

人々、疲れ果てて、答えない。

F あらら、だから、言ったのに、

人々、疲れ果てて、答えない。

F (振り返って) こっちですよ、こっちですよー、

Z、やってくる。

Z ……

F あなたが言っていた場所はここじゃないですか、

Z え、……ここですか？

F はい、

Z ここが、国、ですか、

F はい、さっきまでは国がありましたけど、今は、どうなんでしょう、

C ……国です、

Z え？

C ここは国です

他 Z あ、わたし、人を探しているんです、ある人を、探して、遠い所から来たんです、……

Z、Uを発見する。

Z あ！ あああ！ いた！ ここだ、やっぱりここだったんだ！

「あたらしい憲法のはなし」

Z、Uに走って近づく。

Z ここにいた！

Z、Uに抱きつく。

他 え、

A ……お知り合いですか、

U いいえ、

他 え？

Z ……はじめまして、

他 ええ？

Z はじめまして、おばあちゃん、

他 おばあちゃん？

Z はい、

C え、え、どういうことですか、

Z わたしは、今、お腹の中にいる、この間もなく生まれてくる母の、娘です、

他 はあ？ 娘の？ 母の？

Z わたし、未来から来たんです、

他 ええ！

S 本当ですか？

S 本当です、

S 未来人だ！ 未来人だ！

他 未来人……、

Z あの、わたし、おばあちゃんに、皆さんにお礼を言ったために、ここに来ました、

C 僕たちですか、

Z はい、ここにいて、皆さん、全員に、です

他 ええ？

Z みなさんが今日つくったこの国は、わたしのいる未来まで、ずっと続いてるんです、

他 ええ、

C え、これが？

Z はい、ここは、一面のひまわり畑になっています、

J おお！ やったー！

他 すごいな、

A 未来はそんな平和な世界になってるんですか、

Z いや、平和ってわけではないんですけど、

他 え？

Z ……でも、あの、本当にひとつ、ひとつ、ゆっくりとですが、ちよつとずつ、ちよつとずつ、良くなってますんで、あの、だから、あきらめないでくださいね。本当に、目に見えないくらい、ちよつとずつですけど、でも、絶対に、良くなっていきますんで。だから

ら、みなさん、国を、うちのおばあちゃんを、よろしくお願いします！  
他 ……はい、  
Z じゃあ、おばあちゃん、あたし行かなきゃ、  
他 え！  
U え、もう？  
Z うん、お迎えが来るから、  
U そう、  
Z 元気なお母さんを産んでください、  
U はあ、ていうか、女なんだ、  
C 知らなかったんですか、  
U 知らなかったです、  
M え、ここで産むんですか？ 大丈夫ですか？  
Z はい、なんか、産婆さんにとりあげてもらったらいいです、  
他 産婆さん？

L、手を上げている。

他 ええ！ 産婆さん？  
L あれ、言っとらんかったか？ スポン、スポンと60年！  
C 福耳より役に立つものあるじゃないですか！  
Z よろしく願います、  
L まかせんしゃい、  
Z じゃあ、みなさん、さようなら、さようなら、また未来で！

Z、いなくなる。  
全員で手を振る。

全員、しばらく見送って、

C ……え、本当に未来から来たんですかね  
 他 さあ………？

F 僕はそこで道を聞かただけですよ、  
 M 未来もここに国があるって言ってましたよ、  
 G 本当ですかね、

A ……あの、とりあえず、あがりませんか  
 他 ああ、

全員、島の上に乗る。

妊婦や老人や子供を手伝ったりしながら。  
 人々、島に上がり、一息つく。

Fはブランコに乗っているなど、少し離れた場所にいる。

C ……さっきは、すいませんでした、

O ……いや、こちらこそ、申し訳ない、

G やっぱり、国がふたつというのがよくないんですかね、

他 ああ、

U でも、同じ国なのに戦争している人たちも沢山いますよ、

他 たしかに、

B もう人が集まること自体よくないんじゃないですか？

他 ああ、

F そうそう、そうですよ、ひとりであるのが一番、自由ですよ、

K バラバラに暮らせば、喧嘩のしようがねーからな、

他 たしかに、

J いや、でも、

K なんだよ、

J 僕は、あの、一緒にいたいです、

K ……は？

J あ、いや、あの、みなさん、みなさんですよ、

B つきあってんの？

K つきあってねーよ！

G まあ、国をよろしくお願いしますって頼まれちゃいましたからね、  
 P そんなこと、頼まれても困っちゃうですよね、

A ……あの、あたし、考えたんですけど、  
 B え？

全員、少し黙って、Aの話聞く。

A 約束をしませんか、

他 え？

C ……約束ですか？

A はい、わたし、たまたまですけど、総理大臣になって、ずっと、そのときそのときで、一番良いと思うことをしてきたつもりなんです、

他 ……

A わたしたち、ずっと、そうやって、問題が起こるたびに、その場その場で、どうするか、話しあってたじゃないですか、

他 ……

A でも、あの、それだと間違えちゃうこともあると思うんです、いや、間違えちゃうのが悪いんじゃないくて、誰でも、いつでも、間違えちゃう可能性があるって思うんです、

他 ……

A だから、間違えそうなときに、間違えちゃったときに、わたしたちが本当はどうなりたかったのか、それを思い出すための、約束をしませんか、

他 ……

M ……でも、もし、その約束を誰かがやぶっちゃったらどうするの？

A それは、悲しいことですけど、でも、そのときは、もう一度、話し合って、あたらしい約束をしましょう、

全員、黙る。

21 【合唱】

Z、やってくる。

Z すいませーん、すいませーん、  
他 え？

S さっきの未来人だ！

Z あの、すいません、助けてもらえないですか？

他 え、

Z あの来るはずのお迎えが、来なくて……

他 ええ、

Z だから、あの、助けてもらえないですか、どこも水浸しで、寒くて、水蛇も出るし、

他 水蛇！

他 どうぞ、どうぞ、

Z、やって来て、上がる。

J あ、ひまわり！（踏んでる）

Z ああ、ありがとうございます、

他 いえいえ、

O 孫をありがとうございます、

U また水蛇が出たんですか、

他 がやがや、

C あの、それで、どうします、

他 え？

C さっきの約束の話、

他 ……

A ああ、すいません、さっきは長々と、

M ……あの、いい、と思うよ、

A え、

M どんなバイトにも、ルールはありますからね、

B もう、こんな水浸しに絶対なりたくないから、それ入れて、

A あ、はい、

B 奴隷は禁止でお願いします

A 泥棒も禁止してください、

V 老人にはやさしく、

E 算数のプリントはやぶかないでください

T 子供にも投票させてください、

S がやがや

A みなさん、一度に喋らないでください、ストップ、ストップ、

「あたらしい憲法のはなし」

他 ……ああ、

全員、一度、黙る。

F みなさん、さつきからそんなずっと騒いでて、疲れないんですか、  
B 疲れた、

他 つかれた、つかれた、

G たしかに、今日はもう、いろいろあって、疲れましたね、

他 そうですね、

Q だって、もう、こんな夜ですよ

他 暗い、

C あの、ちょっと提案なんですけど、いいですか、

M なんですか、

C あの、話し合うのは明日にして、今日はもう、休みませんか、

他 ああ、いいね、

A じゃあ、そうしましょうか、

U でも、これ、みんな、寝られますかね、

他 ああ、

C まあ、なんとかするしかないでしょうね、

B どうやって寝るんですか、

人々、黙る。

A じゃあ、まずは、それを決めましょうか、

照明、変化。

A に合わせて、人々、ハミング。

人々、「夜のうた」を合唱する。

歌が消えると共に、照明もカットアウト。

しばし、暗闇。

ギターの音色と灯り、カーテンコール。

「あたらしい憲法のはなし」おしまい

## 「あたらしい憲法のはなし」

本戯曲は、柴幸男と「あたらしい憲法のはなし」出演者によって書かれました。  
本戯曲の上演料は無料です。上演をする際には「ままごと」「まどご連絡ください。  
またその他、問い合わせなども「ままごと」まど。

ままごと HP [www.mamagoto.org](http://www.mamagoto.org)  
MAIL [mamagoto.org@gmail.com](mailto:mamagoto.org@gmail.com)